

# 子どもをまん中にみんなが育ち合う 「クリエイティブ・ミニタウン」構想



TMO第10期  
渡慶次 康子(とけしやすこ)

## ～現代の子どもを取り巻く環境～

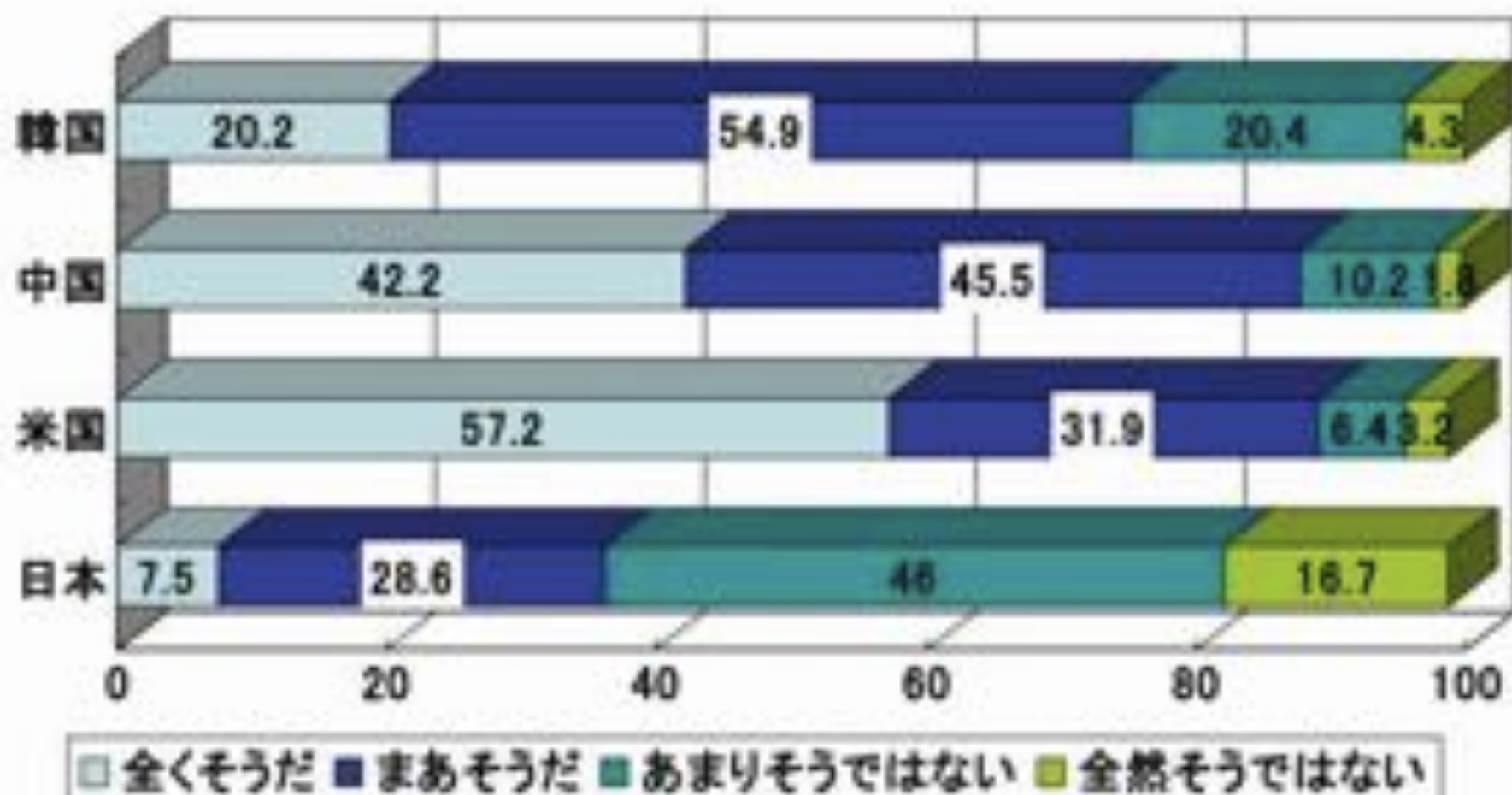
- 管理された社会の中、時間に追われている
- 遊ぶ場所や仲間がない
- 関わる大人は親と先生だけ
- 子どもの7人に1人が貧困
- 相次ぐ子どもの虐待



自分はダメな人間 ➡ 助けて！と言えない

# 私は価値のある人間だと思う

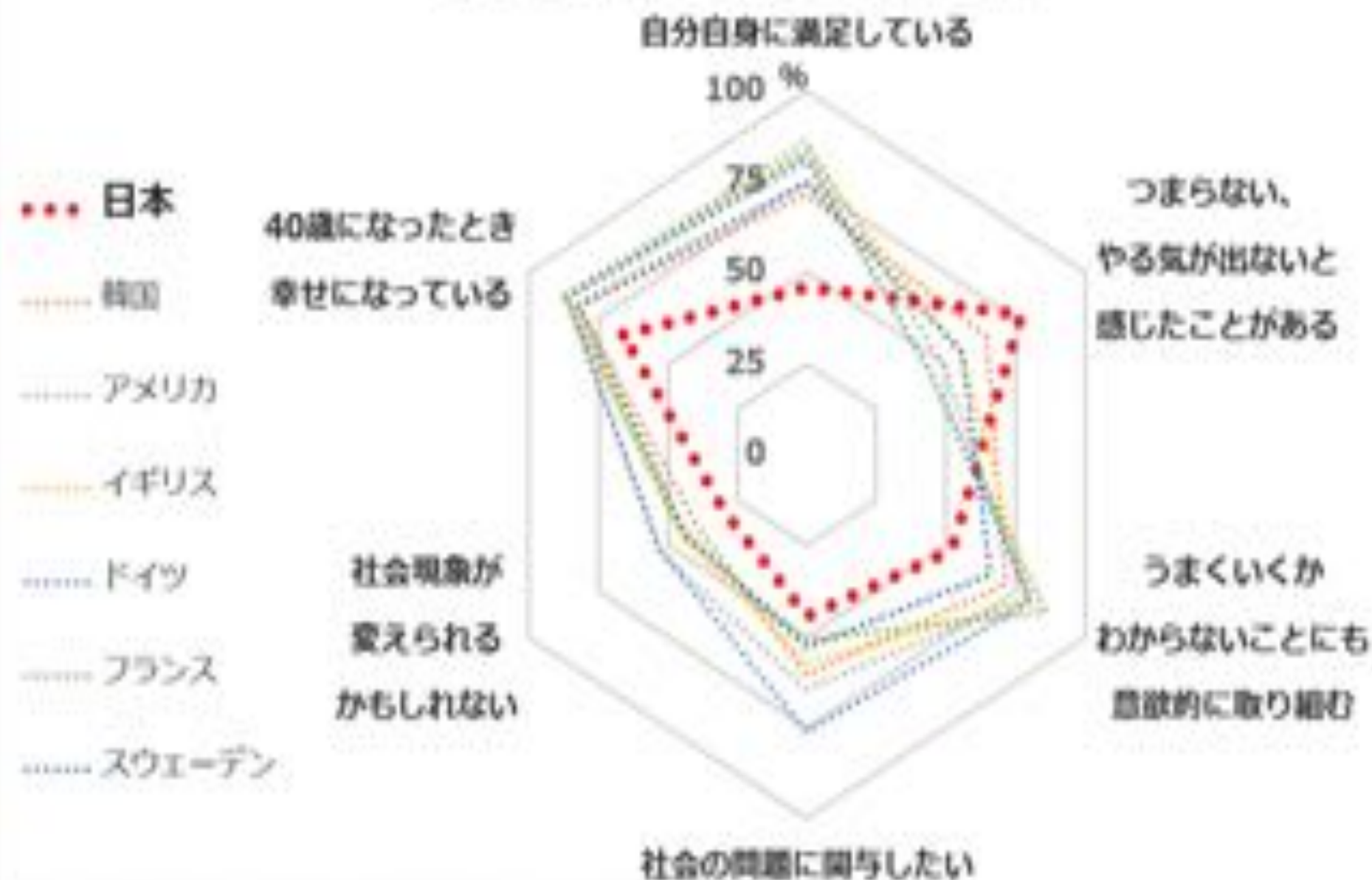
Research



(出典)「高校生的心と体の健康に関する調査(2011年3月)」

財団法人 一ツ橋文芸教育振興協会、財団法人 日本青少年研究所

## 若者の意識に関する国際比較



出典：内閣府「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査(平成26年度)」

子どもとおとなが関わり合い育ち合う  
環境が必要！

自分で考え、決めることができる場が  
必要！

そのままの自分でいいと思える事！

# 自己紹介

静岡県富士市 ⇒ 浜松市 ⇒ 市川市で子育て  
市川おやこ劇場(現:市川子ども文化ステーション)にて

あそび      子育て      学び合い

1993年～ 専従事務局

2003年～ 理事長

会員⇒32年

理事長⇒16年



# 市川子ども文化ステーションの沿革

- 1983年 任意団体市川おやこ劇場設立 ⇒ 36年
- 2001年 NPO法人市川おやこ劇場認証 ⇒ 20年
- 2006年 NPO法人市川子ども文化ステーションに名称変更
- 2009年 「子どもがつくるまち・ミニいちかわ」が  
千葉日報社主催「千葉教育大賞」の準大賞を受賞

会員数 557人 (2019/3月)

役員数 65人

年間事業数 2,180人

年間受益者数 25,500人



# 市川子ども文化ステーションの主な事業

## 舞台鑑賞事業

本物との出会い



わくわく、ドキドキ  
心が動く体験





# 子どもの体験活動事業



忍者修行・まち歩き修行

夏のキャンプ（沢登り）



# 子どもの居場所 異年齢の遊びの場

## 親子の居場所

市川市新浜親子つどいの広場  
～市川市からの事業委託～



## 子ども食堂



# 子どもがつくるまち・ミニいちかわ

①子どもの参画の場

②子どものコミュニケーション力が育まれる場

③大人の学びの場＝子どもの力を信頼する大人が増えていく



◆子どもスタッフ会議には、小学4年生～高校生まで約100人が参加

◆2003年から毎年実施、今年で17年目

◆これまでの参加者 **57,000人**（市内小学生の約14%）が参加）





自分で仕事  
を選んで



プロとの  
出会い!



ミニいちかわ市長と村  
越市長の名刺交換

市長選挙も開催！







本物の弁護士さん



ジェイコムさんの協力で  
テレビ局







クリエイティブに!



# 「ミニいちかわ」で解決できること

いろいろな大人と関わる  
機会が乏しい

多様な価値観と出会う  
機会が少ない

信頼できる大人が  
いない

様々な課題を抱える  
子ども

憧れや見本となる大人  
と出会う機会が少  
ない

自分の意見を聴いて  
もらう場がない

孤立、引きこもり

「子どもがつくるまち」へ参加

- 孤立しがちな子どもと地域の大人が繋がり、子ども自身の力を育む地域を形成
- 子ども自身の力が高まり、虐待や貧困の連鎖を防ぐ。
- 子どもが未来に夢を持てる社会となる。

これまでの経験を生かして・・・

## 常設のこどものまち 「クリエイティブ・ミニタウン」構想





プロとの出会い

素敵な大人との出会い



ミニいちかわの  
ノウハウ

ジェイコム  
大工さん

弁護士  
マジシャン

消防士・警察官

クリエイティブ  
ミニタウン

キッズ・ビジネス  
タウン  
商工会議所  
青年会議所  
NPO団体

紙屋さんの  
プログラミング

原さん  
遊びのススメ

手作り作家さん  
食育などなど

空き屋レスキュー  
場所の提供

地域との連携

そして…

- 子どもと大人が出会い仲良くなる
- 孤立した子どもや大人がいなくなる
- 市川をふるさとと思える

子どもをまん中に

みんなが育ち合う市川